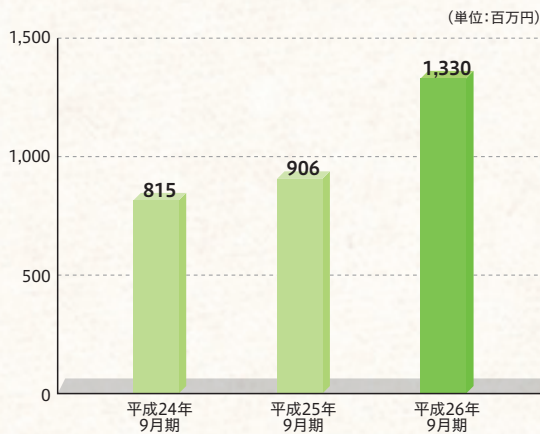


業績ハイライト（単体）

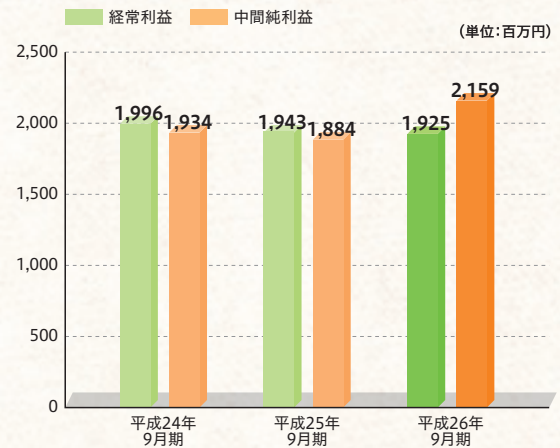
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや、経費削減により物件費が減少したことなどから、前年同期比4億24百万円増加の13億30百万円（増減率46.8%）となりました。



経常利益・中間純利益の状況

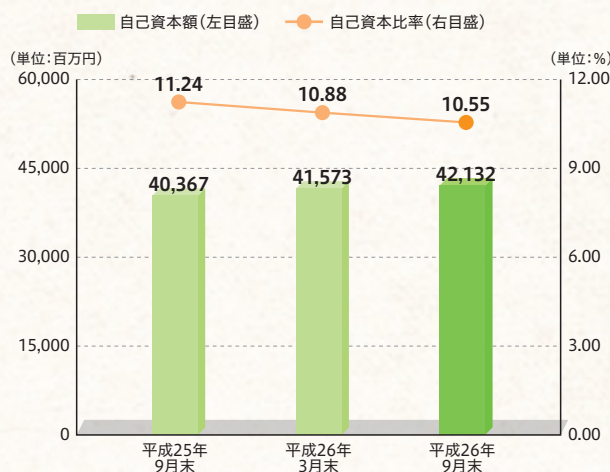
経常利益は、前年同期比17百万円減少の19億25百万円、中間純利益は、前年同期比2億74百万円増加の21億59百万円となりました。



自己資本比率の状況

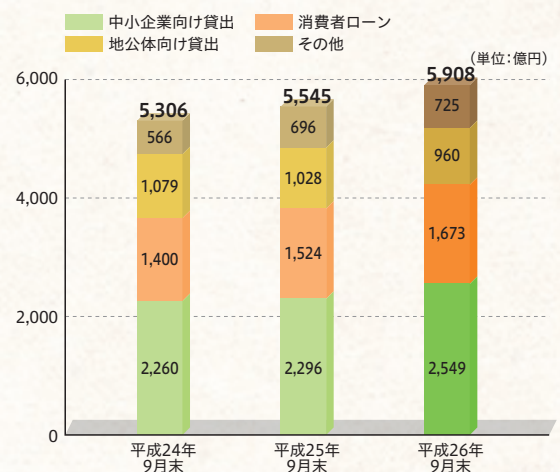
単体自己資本比率は、10.55%となりました。

※平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制（バーゼルⅢ）が国内基準行に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なっております。



貸出金の状況

貸出金残高は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要への対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン貸出が増加したことなどから、平成25年9月末比362億94百万円増加の5,908億73百万円となりました。

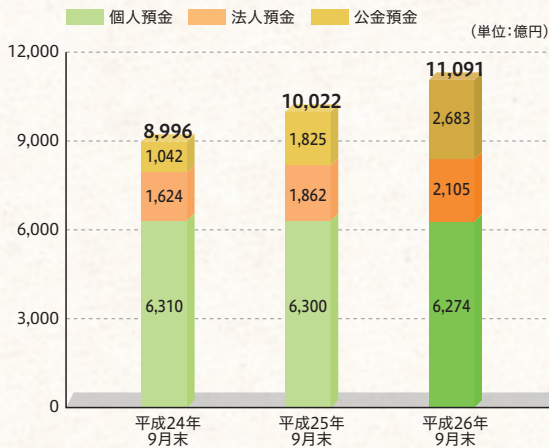


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

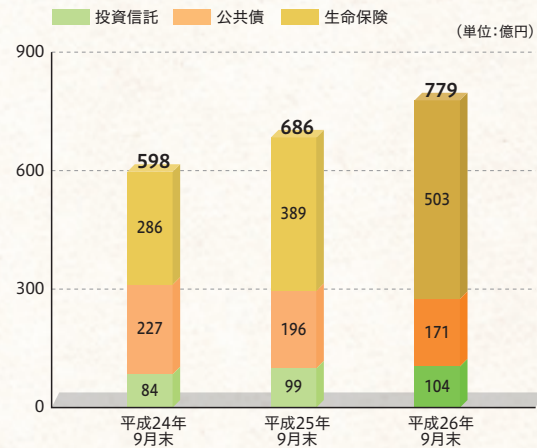
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金が減少したものの、法人預金や公金預金が増加したことなどから、平成25年9月末比1,069億5百万円増加の1兆1,091億28百万円となりました。



預かり資産の状況

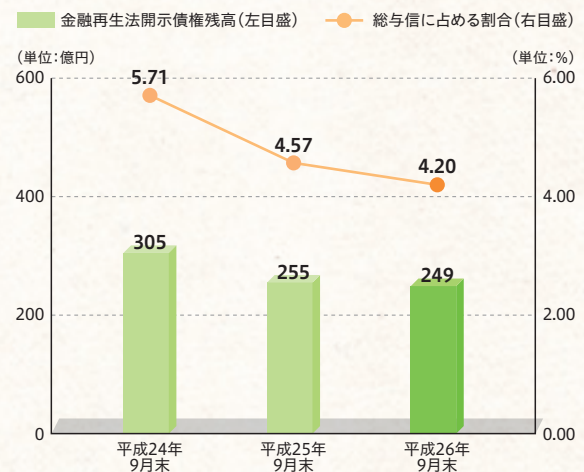
預かり資産残高は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により生命保険残高が増加したことなどから、平成25年9月末比93億41百万円増加の779億93百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、平成25年9月末比5億47百万円減少の249億74百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成25年9月末比0.37ポイント低下の4.20%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。